

久世地域における幼児教育施設整備に伴う保護者説明・報告会
(議事概要)

【令和3年9月28日 出席者：久世保育園 18名・愛慈園 0名、傍聴者：12名】

1 開会

事務局

2 挨拶

健康福祉部福祉部長

3 経過報告

事務局より説明

4 アンケート結果

事務局より説明

5 真庭市子ども・子育て会議の進捗状況

事務局より説明

6 意見交換

(久世保育園保護者)

民間参入を視野に入れるとのことだが、理由は財政的なことからなのか。民間への移行については、建物の設置から運営まですべて民間がするのか、それとも、設置は市が行い、運営は民間が行う形式なのか。

(事務局)

民間参入を視野に入れるというのは、要素としては財政的なこともあるが、子どもの育ちや価値観、保護者のニーズなどが多様性が求められる状況において、保護者の選択肢を広げたいというのが一番だ。例えば、公立が良いと思えば公立に、民間が良いと思えば民間に、また、こども園が良いと思えばこども園に通わせるといった様な選択肢が可能となる環境を整備していくことが行政の役目だと考えている。

(久世保育園保護者)

施設への移行であれば、公立の新しい保育園を建て替え、0歳児から預けられて、

特色のある新しい園を民間が建てれば保護者の選択肢が広がるのでは。

(事務局)

0～2歳児の受入れについては課題になっている。この点についても子ども・子育て会議の中で意見をいただきたいと考えている。

(久世保育園保護者)

今、手を挙げている民間事業者が市が示した条件ではできないという状況にならないよう、今、手を挙げている民間事業者も子ども・子育て会議に参加して一緒に考えていくべきでは。

(事務局)

現在の状況としては、民間参入を議論のテーブルに載せるかどうかについて意見を伺っているところである。仮に民間参入となった場合でも、条件を出した上での公募となるので、今、手を挙げている民間業者に決まるというわけではない。もし、民間参入がない場合は市が責任をもって対応していきたい。

(久世保育園保護者)

真庭市としては、保育園の数を増やそうとしているのか、または、新しく大規模な園を建てて、現在の園を減らそうとしているのか。

(事務局)

久世保育園については老朽化が課題になっているが、建て替えるのか、または、新しい園を別の場所に建てるのか、どれくらいの規模で建てるのかといったことをまさに子ども・子育て会議の中で意見をいただいている段階で、まだ、決まっていない状況である。規模については、子ども・子育て会議の中で100人前後という意見が出ているが、保護者の方からはこれについてはどう考えるか。

(久世保育園保護者)

今くらいか、または、100人多くても150人くらいと考える。

(久世保育園保護者)

待機児童対策として、CLTが久世保育園と米来こども園にできたが、これによって園庭が狭くなった。子どもの遊び場がないがしろになっているのではないかと。お金のことが優先され、子どものことがないがしろになっているのではないかと

心配する。また、R5年の開園に向けて進めていると聞いたが、今のペースでは間に合わないのではないかと思う。今後のスケジュールはどう考えているのか。

(事務局)

園整備についての方向性としては、財政的なことよりも選択肢を広げることに重きを置いている。

子ども・子育て会議の中でも、この件についてはもっと議論すべきであるとの意見をいただいている。スピード感を持ってやらないといけませんが、現段階では何年度に開園は決まっていない。もう少し丁寧に進めていきたい。

(久世保育園保護者)

久世保育園と久世第二保育園を規模はそのまま建て替え、あたらしく民間の園を建てるというのが良いのではと考える。現在、手を挙げている民間事業者と話をしたが、本気で良い園を作ろうとしている気持ちが伝わった。仮に公設公営になり、民間参入は無しとなった場合は、残念に思う。

(事務局)

ご意見として伺っておく。

(久世保育園保護者)

例えば、園は公設で建てて、午前中は公営、午後からは民間が運営して特色ある教育・保育（習い事など）をするといったように、子どもたちのために柔軟な対応をして欲しい。

(事務局)

子どもたちのためにとすることは常に考えておくべきことだと思う。

ちなみに、習い事などに係る教材費は別として、保育料については公立園と私立の認可園では差が無い。3歳児以上についても無償である。

(久世保育園保護者)

子ども・子育て会議で決まったことが、そのまま決定事項となるのか。また、子ども・子育て会議の構成メンバーにはどのような人がいるのか教えて欲しい。

また、久世地域の園の保護者代表が子ども・子育て会議に参加したのは、第2回会議だけのようだが、今後も参加する予定はあるのか。

(事務局)

子ども・子育て会議は市長の諮問機関であり、会議で決まったことがそのまま決定事項となるわけではない。会議で出た意見を吸い上げたものを市長に答申することになる。もちろん、会議での意見を尊重しなければならないが、そのまま決定事項となるわけではなく、参考にしたものを議会等に諮った上で決定していくことになる。メンバー構成については、専門的知見から、大学の教授であったり、また、保護者の立場から、真庭の北部・中部・南部からの園の保護者代表であったり、PTAの連合会長、放課後児童クラブの代表や実際に子育て支援をしている代表など14名の方にメンバーになっていただいている。

また、第2回会議については、真庭市子ども・子育て会議は本来、真庭全体の子育て施策等を議論する場であるが、喫緊の課題である久世地域を優先的に考えていくとの会議での議論から、久世地域の園の保護者代表に出席していただいたものであるし、会議の構成メンバーの中にも、真庭の北部・中部・南部からの園の保護者代表も出席いただいているので、今後、久世地域の園の保護者代表の参加は予定していない。

7 閉会

事務局

【令和3年9月29日 出席者：久世こども園 14名・草加部幼稚園 1名、傍聴者：4名】

1 開会

事務局

2 挨拶

健康福祉部福祉部長

3 経過報告

事務局より説明

4 アンケート結果

事務局より説明

5 真庭市子ども・子育て会議の進捗状況

事務局より説明

6 意見交換

(久世こども園保護者)

子ども・子育て会議には実際に現場で働いている先生（保育士）に意見は反映されているのか。

(事務局)

今後、先生方から意見を聞く機会を設ける予定にしている。

(久世こども園保護者)

北房のこども園ができるときには、このような話し合いの場はなかったと思う。老朽化の面からいうと、久世の園の方が当然先に整備されるべきだったと思う。今後も定期的にこのような意見交換会を開催してくれるのか。

(事務局)

北房こども園の整備については、前の園整備計画で久世地域より先に予定されていたもの。また、久世地域の園整備が遅れたことについては、第3子の無償化により入園希望の園児が急増したことなどにより、計画どおりにいかなかったことが原因である。今後の意見交換会については、どういう形式になるかは分からないが、随時、報告や意見をいただきながら進めていきたいと考えている。

(久世こども園保護者)

民間参入は選択肢が広がって良いことだと思う。現在、真庭市には0歳児の受入れがないことは核家族の家庭にとっては厳しい。子ども・子育て会議の今後のスケジュール感と今後、この会議がどのような目標に向かって進んでいくのか教えて欲しい。

(事務局)

子ども・子育て会議の本来の目的は、真庭市全体の子育て支援の施策について幅広い観点からご意見をいただくことであり、毎年、継続していく。現在は、喫緊の課題である久世地域の園整備を主に議論しているが、今日の回も含め、様々なご意見をいただきながら進めていくので、今後のスケジュールは現段階では未定である。丁寧に、かつ、スピード感ももって進めていきたい。

また、0歳児を預ける環境が少ないこと、3歳未満の受け皿の確保が必要なことは課題であると認識しているので、今後も、久世地域のみならず、会議でのテーマにしてご意見をいただきたいと考えている。

(久世こども園保護者)

久世保育園の整備計画、構想など現状はどうなっているのか。また、具体的な予定、スケジュールが決まっていれば教えて欲しい。

(事務局)

子ども・子育て会議の中で久世地域における幼児教育施設整備を考えていく中で、老朽化が一番進んでいる久世保育園から優先的に取り組むべきであり、また、設置場所については、現在ある保育園あるいはその周辺が良く、規模は100人前後、民間参入も否定すべきではないが、まずは公共で考えてみてはというご意見をいただいているのが現状である。今後も、子ども・子育て会議で議論していただいた上で、市長に答申していただき、議会にも話をしながら進めていく予定ではあるため、現段階では、まだ、具体的な予定、スケジュールは申し上げられない。

(久世こども園保護者)

久世地域については、他の地域と比べ、子どもの数の減少が緩やかだとシミュレーション結果だったと思うので、園の定員設定は十分に余裕を持ったものにしてもらいたい。公設園での定員設定後、あぶれた部分について民間で対応できる

ようにすれば良いのではと考える。民間参入の場合は、設置主体は社会福祉法人となるのか。また、民間となる場合の弊害も含めて現場の先生（保育士）の意見も聞いて欲しい。大規模園の弊害も考えて欲しい。こどもがまんなかと言われてるので、それに見合ったことをしてもらいたい。

(事務局)

定員・規模については、本日いただいたご意見を子ども・子育て会議への参考とさせていただきます。

設置主体については、こども園の形態によって参加できる要件が異なっているが、現時点では、その形態も決まっていないため、未定である。

先生方から意見を聞くことについては、今後、機会を設ける予定にしている。

(久世こども園保護者)

こども園の形態はいつの時点で決定されるのか。

(事務局)

民間参入ありきで進めているわけではなく、公設でしている園に民間という話を比較検討する対象としても良いかということで進めているので、ご理解いただきたい。

(久世こども園保護者)

設置しようとするこども園の形態についても、子ども・子育て会議の中で議論してもらいたい。

(久世こども園保護者)

アンケート結果からも、現在の環境だったり立地条件に大半の方が満足している現状であるので、まずは公共で考えて、足りないところを民間で対応するのが良いのではないか。

(久世こども園保護者)

久世こども園をもう少し低年齢から対応してもらうことはできないか。

(事務局)

現在、久世こども園は3歳児からの受入れとなっているが、兄弟で一緒に通える環境ができたという保護者の思いがあるのは認識している。ただ、これに対応

しようとする、施設を増築することなどにより、園庭や駐車場が狭くなったりなど様々な課題も発生することになる。

(久世こども園保護者)

現在、給食については学校との共同で作られているため、学校が休校になるときなど影響を受けることが多々ある。新しくできる園には、給食施設も一緒に作ってもらいたい。

(事務局)

給食についても園整備には切っても切れない関係であることは認識しているので、検討していきたい。

(久世こども園保護者)

久世こども園については、現状の園児数がちょうど良いバランスだと思う。給食施設を増やして、これ以上園庭が狭くなるのは厳しい。給食施設については、久世地域の別の場所に共同調理場を考えてもらいたい。

(事務局)

食というのは、子どもにとって大事であると認識している。給食施設については、園庭のこともあるので、検討課題として取り上げていきたいと考えている。

(久世こども園保護者)

以前に住んでいたところには「ファミリーサポートセンター」があり、良かった。真庭市にも各地に同様の施設があってほしい。また、センター園で対応してほしい。

(事務局)

参考にさせていただきたい。

7 閉会

事務局

【令和3年9月30日 出席者：久世第二保育園 1名・米来こども園 0名、傍聴者： 4名】

1 開会

事務局

2 挨拶

健康福祉部福祉部長

3 経過報告

事務局より説明

4 アンケート結果

事務局より説明

5 真庭市子ども・子育て会議の進捗状況

事務局より説明

6 意見交換

(久世第二保育園保護者)

今の保育園で満足している人がほとんど。久世保育園が老朽化ということであれば、建て替えの方向で検討してもらいたい。久世第二保育園も老朽化が進んでいる。そちらにも対応してもらいたい。

アンケート結果にもあった駐車場の問題などは、ピックアップして、是非とも対応してもらいたい。

(事務局)

久世第二保育園もあわせて考えていきたい。

(久世第二保育園保護者)

先生方の意見も聞いてもらいたい。

(事務局)

先生方から意見を聞くことについては、今後、機会を設ける予定にしている。

7 閉会

事務局